

かわかみ内科外科クリニック

川上悠介

院長



03-6657-0220

kawakamicl.com

東京都墨田区京島1-22-2

### ビジョン

当院は外来診療・訪問診療を通じて、地域のかかりつけ医として医療介護体制や関係各所との連携の充実を進め、幅広く何でも気軽に相談できる診療所を目指しております。

注目の在宅医療機関へのインタビュー取材「PICK UP! 在宅医療機関」の第23回目は墨田区で「かわかみ内科外科クリニック」にて訪問診療を行っている川上悠介院長です。これまでの歩み、現在地、そしてこれからの地域医療に向ける思いを熱く語っていただきました。（2025年6月取材）

## 移植・消化器外科医を目指したきっかけ

### 医師を目指したきっかけはなんですか？

両親が医師だったこともあり、医師という職業にはもともと親しみを持っていました。しかし、医師になろうと強く意識したのは、中学3年生のときに祖母が乳がんで亡くなった経験が大きかったと思います。

「何もしてあげられなかった」「もし自分に知識と技術があれば何かできたかもしれない」—そんな悔しさが「がんを根治できる医師になりたい」という明確な目標へと変わっていきました。

病巣を直接切除し、病気の根源に立ち向かう外科医の姿に憧れ、長崎大学医学部医学科へ進学しました。



### 大学に進学されてからはどのような進路を考えていましたか？

私は「病気の根治を目指して治療を進めたい」と考えていたので、手術を通じて直接的に治療に関わることができる外科に魅力を感じていました。長崎大学の外科は、呼吸器外科と移植・消化器外科の2つに大きく分かれていたのですが、特に移植・消化器外科の先生が非常に熱心な方でした。

外科医としての医療に情熱を持っているだけでなく、教育にも力を注いでおられ、「この診療科なら自分も成長できる」と感じたのです。当初は外科のどちらの診療科に進むか迷っていましたが、最終的には先生の情熱に惹かれ、移植・消化器外科を選ぶことにしました。

## 長崎から東京へ。在宅医療との出会い

### 就職先の長崎大学附属病院ではどのような疾患を主に診ていましたか？

主に胃がんや大腸がんといった消化器疾患の手術を担当していましたが、肝臓移植の後方支援に携わることもありました。一つ一つの手術が、患者様やご家族にとって人生を左右する大きな転機であり、命の重さや責任の大きさを痛感しながら、移植・消化器外科の医師として多くの学びと経験を積むことができました。

長崎大学附属病院に10年ほど勤めた後、結婚を機に妻の地元である東京へ引っ越し、転居後は東京の墨田中央病院に勤務することになりました。

## 在宅医療に出会ったのは東京に引っ越してからというわけですね。

はい、在宅医療に出会ったのは、墨田中央病院の研修がきっかけでした。診察を通じて在宅医療の現場で患者様と関わる中で、患者様が「自宅」という安心できる環境で生活していることを知り、これまで見落としていた生活習慣や家族背景といった側面にも目を向けるようになりました。

在宅医療とは、単に病気を診るのではなく、人生そのものに寄り添う医療だと気付き、医師である前に一人の人間として患者様と関わることの大切さも実践的に学ぶことができました。そして、病院とはまた違った形で患者様に寄り添いながら治療を進めていける点に、大きな魅力を感じたのです。

外科は非常にジェネラルな分野であり、患者様の全身状態を幅広く診ながら、総合的な判断を下す力が求められます。そのため、在宅医療の現場においても、「在宅でできること」「病院でなければできないこと」を的確に見極め、適切な治療方針を立てられるという点は、外科医としての大きな強みだと感じています。

## クリニックを開業しようと思ったのはいつごろですか？

墨田中央病院で4年ほど働く中で、墨田区という地域の特性や、どのような患者様が多いのかを学ばせてもらいました。勤務中は、消化器外科だけでなく整形外科の手術や内科診療にも携わる機会があり、2年、3年と経験を重ねるうちに、「地域の役に立つにはどうすればよいか」と考えるようになったんです。

また、並行して在宅医療についても学んでいたことから、「外科医として、地域に根ざしながら患者様一人ひとりに貢献できるのではないか」というビジョンが明確になっていきました。

そうした想いが形となり、令和3年（2021年）に外来と訪問診療の両方を担うクリニックとして「かわかみ内科外科クリニック」を開業しました。



## かわかみ内科外科クリニックを設立

### 設立当初はどのような体制でスタートしたのですか？

クリニック設立時は、看護師1名、受付1名、相談員1名の計4名という体制でスタートし、クリニックの運営に手一杯だったので、外来と訪問診療の両方を並行して行うのは非常に大変でした。

また、訪問診療では、ケアマネジャーや地域包括支援センター、市役所の方々など、多くの関係機関との...

続きはQRコードからアクセスしご覧ください → → →

